

## 令和2年5月における会員の財務状況等

日本商品委託者保護基金

### 1. 会員数の状況

会員数は25社。内訳は受託会員14社、取次会員11社となっています。

### 2. 委託者数等の状況

委託者数は延べ82,081人で前月から440人増加し、建玉委託者数も10,950人で前月から525人増加となりました。また、役職員数は3,896人で前月から16人減少しました。

### 3. 委託建玉及び預り証拠金の状況

委託建玉は634,444枚で前月から127,528枚増加し、預り証拠金も2,411億28百万円となり前月から580億21百万円と大幅に増加しました。その要因は、原油に関する預り証拠金が大きく増えた会員がいたためです。なお、委託者に占める建玉委託者は13.3%となり前月から0.5ポイント増加しました。

### 4. 純資産額の状況

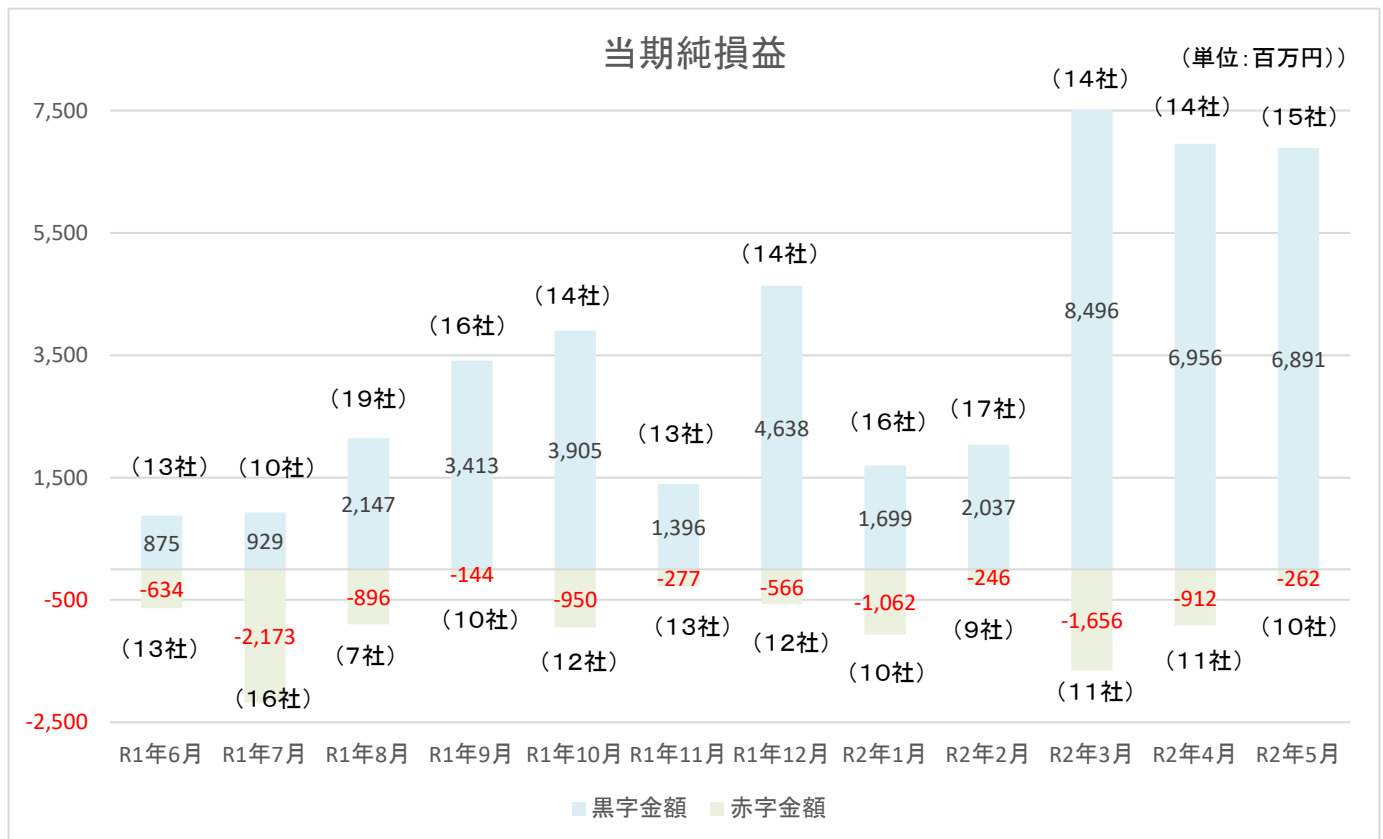
会員の純資産額は総額3,510億22百万円となり、前月から67億7百万円の増加となりました。

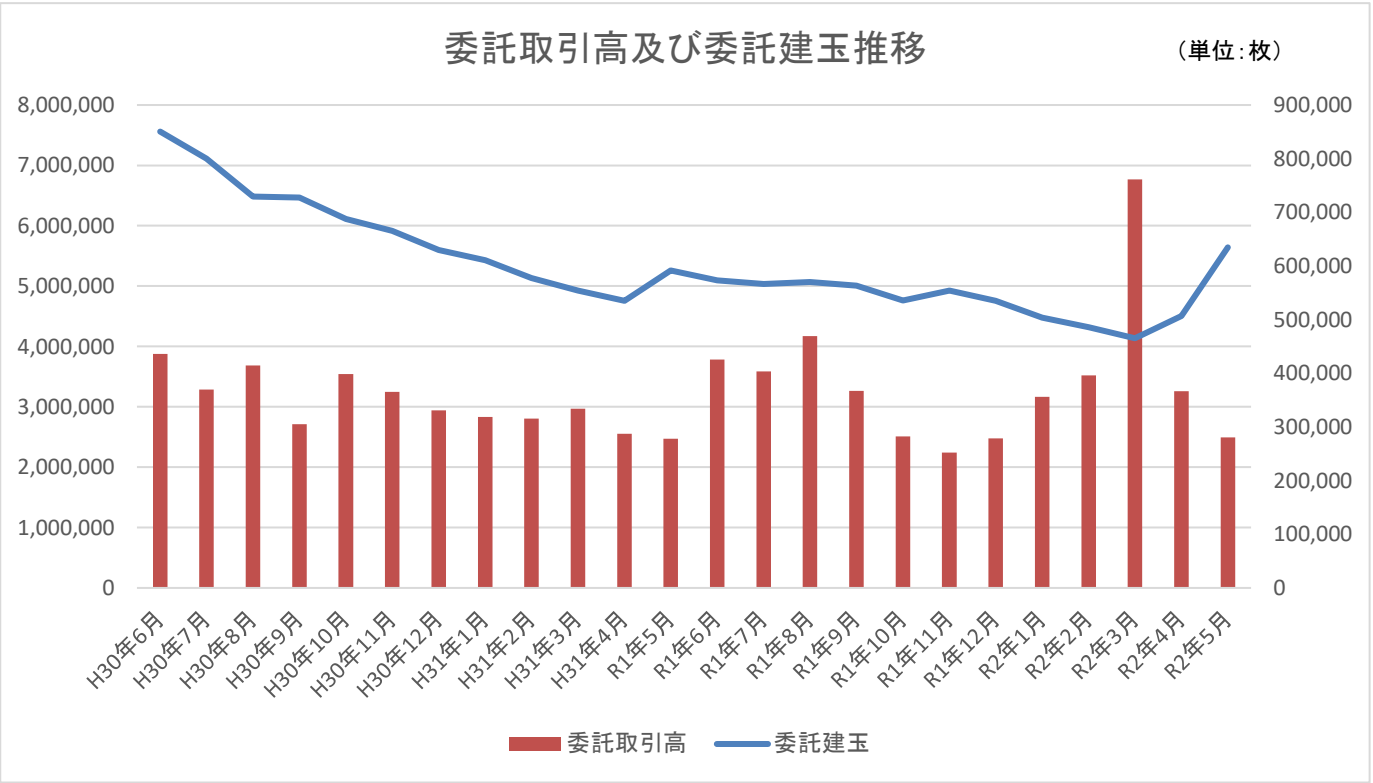
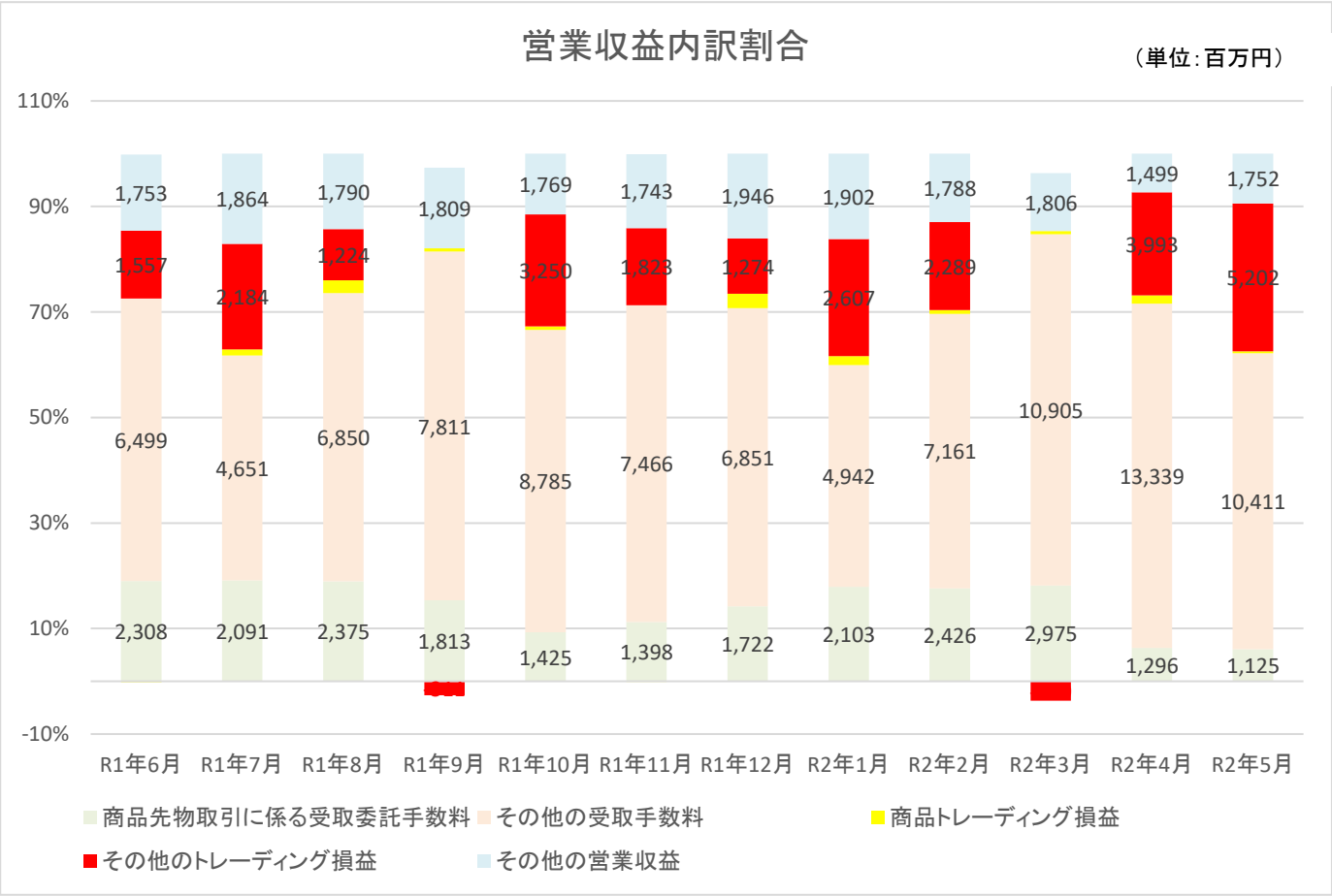
### 5. 損益状況

今月の当期純損益について、黒字の会社が15社、赤字の会社が10社でした。委託取引高が249万枚と、前月から減少したことに伴い、「商品先物取引に係る受取委託手数料」が減少しましたが、一方で「その他のトレーディング損益」が大きく伸びたことから、今月の純損益は66億円と前月比微増となりました。

### 6. 取引高の状況

委託取引高は、前月比23.5%減の249万枚と減少しました。その要因は、ゴールデンウィークの影響で営業日数が少なかったこと、金標準取引(前月比11万枚(13.7%)減の71万枚)、金ミニ取引(前月比6万枚(35%)減の12万枚)及び東京ゴールドスポット100(前月比7万枚(28.2%)減の17万枚)などの金関連商品が軒並み減少したことに加えて、前月相場が大きく動いた原油が前月比46万枚(29.3%)減の111万枚と減少したからです。





以上